



◎グラフから読み取ろう

○「佐賀県の推計人口の推移」をみて、佐賀県の人口の推移を1945年から5年ごとの増減(概数)で説明しよう。

| | | |
|--------------|---|---|
| 人口最多は | 年 | 人 |
| 〃 最少は | 年 | 人 |
| 2018年4月1日現在で | | 人 |

◎記事から読み取ろう

- 1996年以降の減少の要因はどんなことですか。
- 2003年以降に減少率が大きくなったのは、なぜですか。
- 「県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の数値目標はどんなことですか。
- 「子育てし大県」プロジェクトとはどんなことですか。

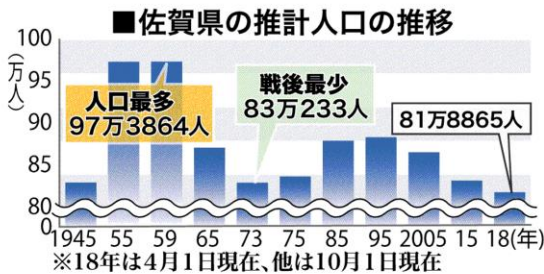
県人口82万人割れ

97年以降、歯止めかからず

佐賀県の4月1日現在の推計人口が81万8865人となり、戦後初めて82万人を割り込んだ。少子高齢化で人口減少が進む中、県は県内への移住施策や子育て支援策に取り組んでいるが、人口増に転じさせる難しさをうかがわせている。

県が毎月公表する推計人口で、初めて81万人台になった。4月1日現在で男性は38万7120人、女性は43万1745人。前年同月に比べて全体では5165人減少し、男性は1989人、女性は3176人減った。4月は転出や転入の動きが激しく、県統計分析課は「5月1日現在で82万人台を回復する可能性もある」と説明している。

県内人口は、終戦の年の1945年が83万431人で、県外への転出数が県外



からの転入数を上回る傾向が続いてきた。2003年以降は死亡数が出生数より

多い自然減が加わり、減少率が大きくなっている。県は15年9月、人口の現状と将来の見通しを踏まえ、19年度までの目標や施策の方針をまとめた「県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。数値目標として5千人の新規雇用創出数を掲げる一方、社会減を1500人まで縮小することなどを目指している。若者の県外流出防止や円滑な移住支援、結婚や出産、子育てを支える「子育てし大県」プロジェクトを推進している。(林大介)

(佐賀新聞 2018.5.2 付)

◎自分の考えをまとめよう

*友達と意見交換したり、家族と話し合ったりしよう。

○佐賀県の人口(問題)について、自分の考えをまとめよう。